

# 小学生用 ライフプランニング学習副読本「考えようふるさと秋田とわたしの未来」

## 活用状況調査集計結果（令和7年度）

調査対象：県内小学校 167校（国立大学法人立：1校、市町村立：166校）

県内義務教育学校・前期課程 3校（市町立：3校）

※分校を含む。

※義務教育学校については、便宜上、おおむね前期課程における小学生用副読本の活用状況をこの票に、おおむね後期課程における中学生用副読本の活用状況を中学生用の集計結果の票に合算して集計しています。

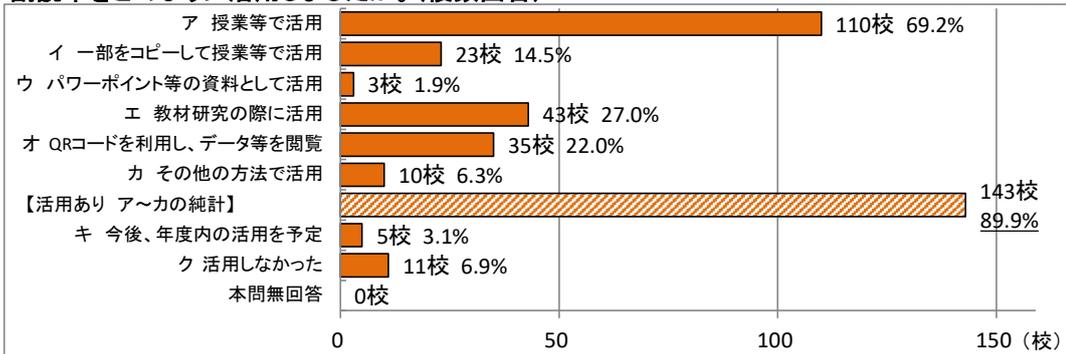
そのため、義務教育学校3校分が小学生用・中学生用の集計結果にそれぞれ計上されています。

◎回答率 93.5%（回答159校／対象170校）

◎活用率 89.9%（活用143校／回答159校）（ほか年度内活用予定5校）

### 問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※調査への回答があった159校中



活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答（類似の回答を統合し、主旨を簡略表記している。以下同じ。）

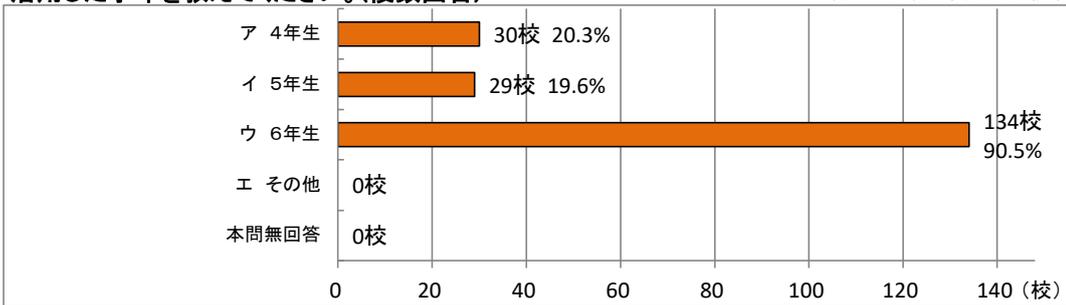
- ・読書タイムなどの時間を活用して各自に読む機会を与えた。
- ・学級の本棚に置いておき、自由に読んだり、調べたりできるようにした。
- ・家庭学習で、興味関心をもった内容の感想・意見をまとめた。
- ・家庭に持ち帰って、各自で又は保護者と読むこととした。

活用状況「ク 活用しなかった」の主な理由

- ・他の資料を活用して学習した。他の教材で対応できると考えた。他に活用したい資料があった。
- ・活用する時間の確保が難しかった。時間的な余裕がなかった。
- ・授業の計画に盛り込んでいなかった。活用の見通しをもつべきだった。
- ・児童の実態に合わせて各担当が準備し、指導した。
- ・他の副読本と内容が重複したり、活用できる内容であればどれか一つだけの活用となる。

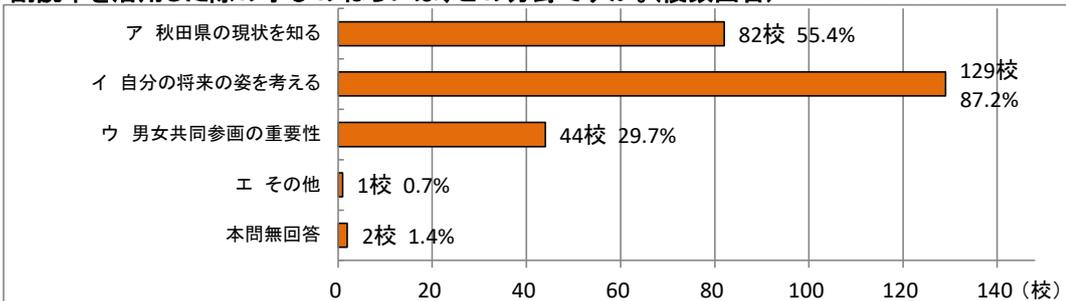
### 問2 活用した学年を教えてください。（複数回答）

※活用した・活用予定の148校中



### 問3 副読本を活用した際の学びのねらいは、どの分野ですか。（複数回答）

※活用した・活用予定の148校中



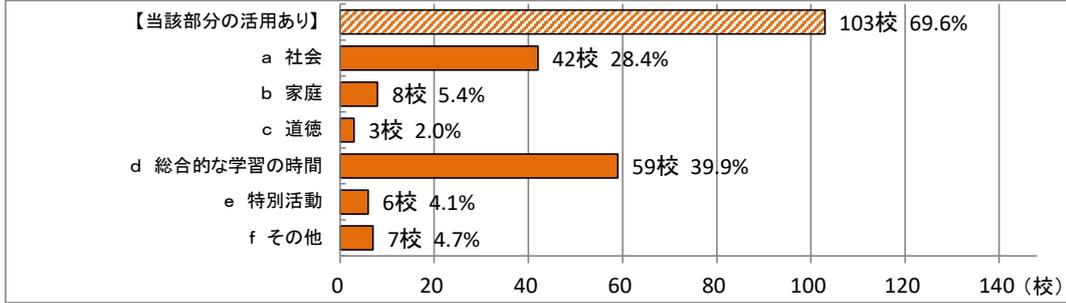
学びのねらいの分野「エ その他」の主な回答

- ・障害者理解、いじめのチェックシート

問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。

ア 第1章 ふるさと秋田を知ろう(複数回答)

※活用した・活用予定の148校中

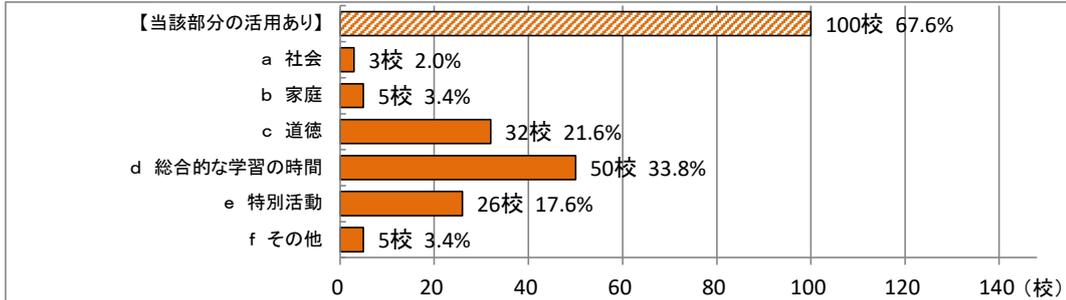


活用場面「f その他」の主な回答

- ・国語、外国語、学級活動
- ・朝読書
- ・家庭学習、家庭での学びとして活用

イ 第2章 ①自分らしく生きていくために(複数回答)

※活用した・活用予定の148校中

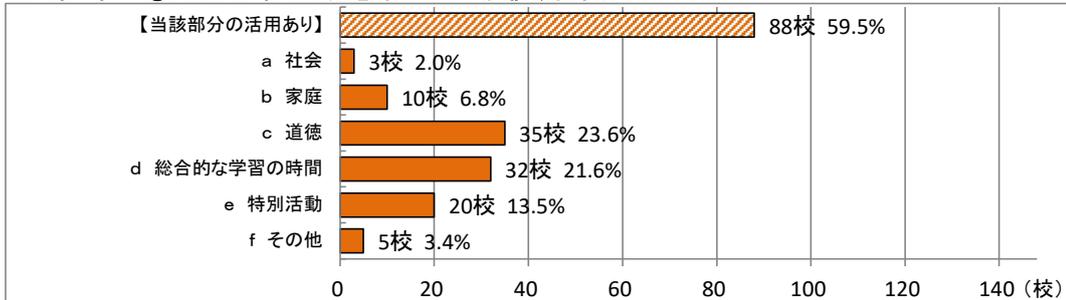


活用場面「f その他」の主な回答

- ・朝読書
- ・家庭学習、家庭での学びとして活用

ウ 第2章 ②人とかかわる自分を考えてみよう(複数回答)

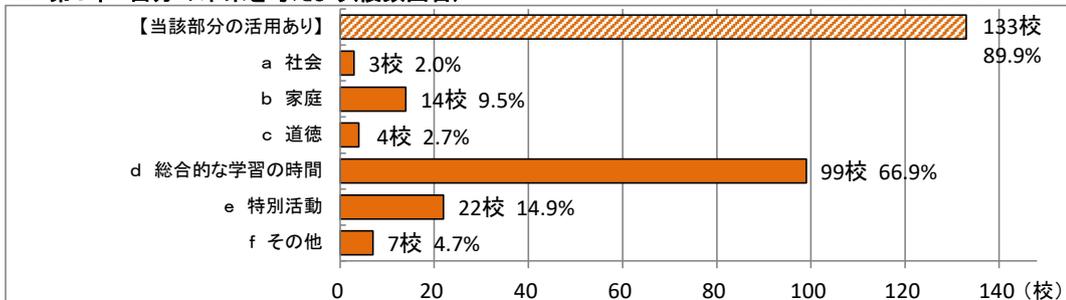
※活用した・活用予定の148校中



活用場面「f その他」の主な回答は、問4イと同様

エ 第3章 自分の未来を考えよう(複数回答)

※活用した・活用予定の148校中

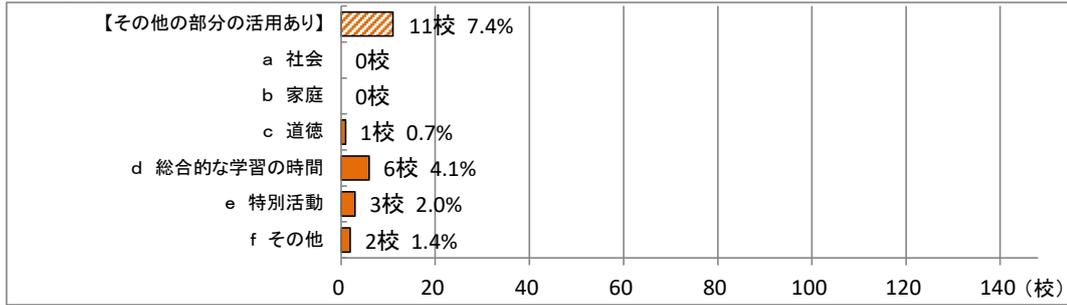


活用場面「f その他」の主な回答は、問4アと同様

(続き:問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。)

オ その他の部分(複数回答)

※活用した・活用予定の148校中



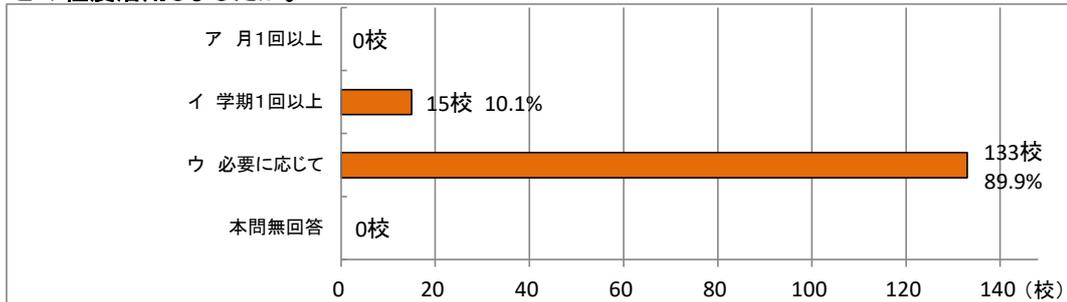
活用した「その他の部分」の具体的な部分の回答なし

活用場面「f その他」の主な回答

- ・相談をすることについての啓発
- ・徳書タイム

問5 どの程度活用しましたか。

※活用した・活用予定の148校中



「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答14校中(当該回数無回答1校を除外)

活用頻度	2学期制の学校	3学期制の学校
一学期当たり1回程度	3校	3校
一学期当たり2回程度	3校	1校
一学期当たり3回程度・それ以上	3校	1校

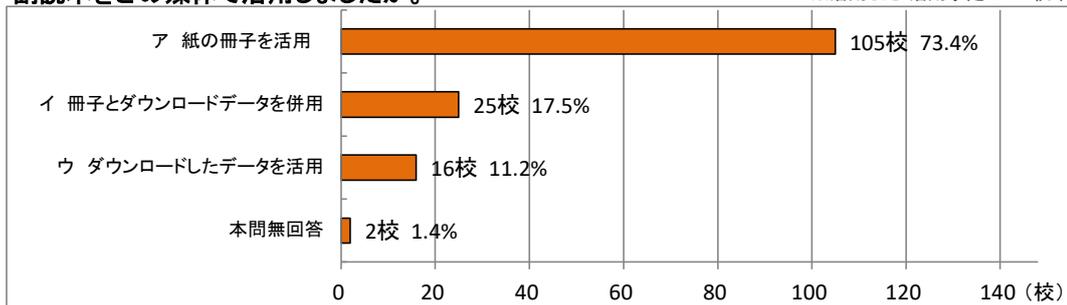
「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答132校中(年間回数無回答1校を除外)

活用頻度	校数
年間1回程度	19校
年間2回程度	51校
年間3回程度	37校
年間4回程度・それ以上	25校

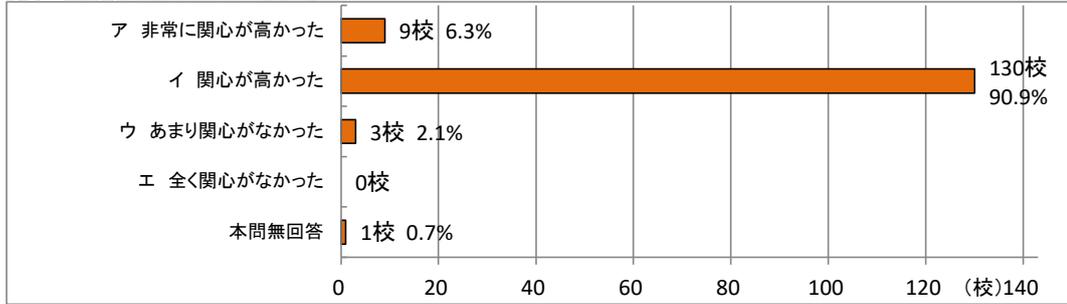
問6 副読本をどの媒体で活用しましたか。

※活用した・活用予定の148校中



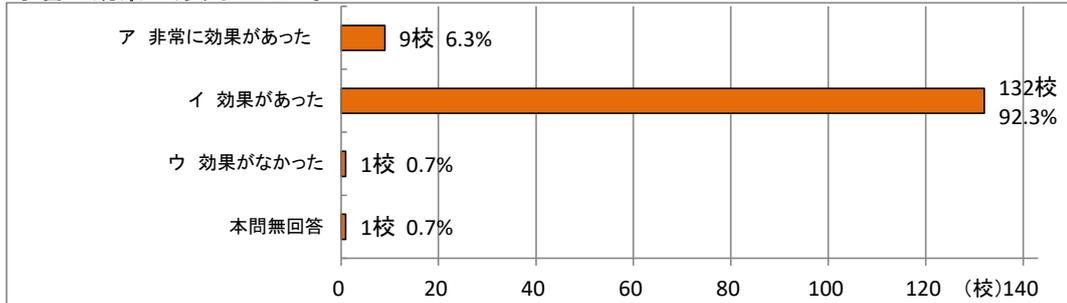
問7 児童の反応はいかがでしたか。

※活用した143校中



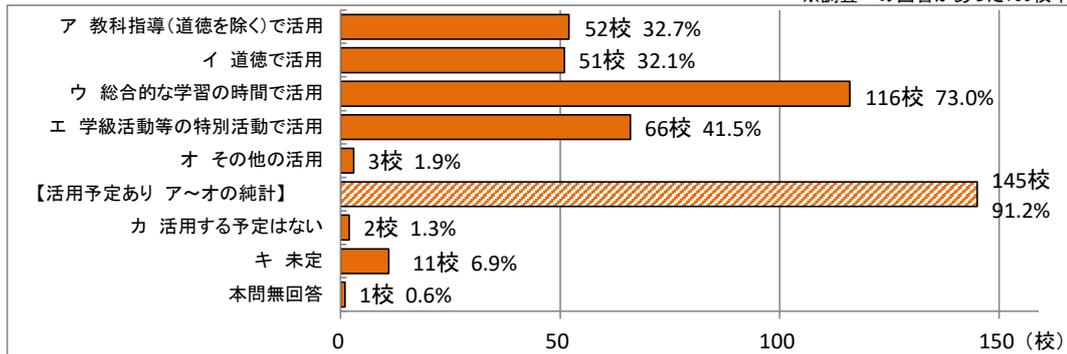
問8 学習の効果はありましたか。

※活用した143校中



問9 令和8年度は、副読本をどのように活用する予定(活用したい)ですか。(複数回答)

※調査への回答があった159校中



活用方法「オ その他の活用」の主な回答  
 ・自学用  
 ・家庭での活用

活用予定「カ 活用する予定はない」には、  
 令和7年度末で統合廃止予定の学校からの回答を含む。

問10 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問10 副読本の内容等についての感想、意見等(小学校・R7)」を参照

問10 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校・R7）

主に副読本の内容に関する感想、意見等
ふるさとや将来に関わる内容が盛り込まれており、児童のキャリア教育に有効な資料がありました。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県の現状を知ることができ、分かりやすかった。</li> <li>・キャリア教育に活用できそうだと思う。</li> </ul>
秋田県の状況を知ることのできる資料でした。
第3章の自分の未来を考よう「未来の姿をえがいてみよう」などのキャリアプランをたてる内容がもっと充実させてほしい
キャリア教育への活用が有効的な内容だと感じた。また、4年生では社会科において「わたしたちの県」について学習するため、その単元にも活用できると感じた。
授業でも活用できるワークシートや、写真などの視覚支援資料が豊富であった。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章がコンパクトにまとめられていて、とても見やすい。</li> <li>・児童の興味を引く内容が掲載されている。（秋田県の全国ベスト3など）</li> <li>・秋田県のよさや課題に気付くことができる内容である。</li> </ul>
第3章の自分の未来を考えることでは、将来つきたいと思う仕事を考えることができ、自分の得意なことや仕事への思いと向き合うことができた。また、未来の姿をえがくことで、自立だったり生き方を考えたりすることができた。将来への夢や希望を持つことができた。
内容によっては、6年生だけでなく、4・5年生の学習にも活用できそうだと思います。
第1章は、写真がたくさんあり、子どもたちは興味津々だった。改めて秋田県について確認することができ、よかった。
第2章②のワーク3、4は、子どもたちも似たような場面を経験しており、自分事としてよく考えることができた。
内容が多岐にわたっており、複数学年での活用ができるものと感じた。
大変分かりやすく章立てされていて、QRコードで読み取る資料も豊富で大変使いやすかったです。「秋田県の出生数、人口の減少」「秋田県の全国ベスト3」については児童も興味深く読んでいました。6年生が活用するのであれば、職業についての情報や、働く人の言葉などがあれば、もう少し活用の幅が広がるのではないかと考えました。第2章は中学年向けの内容だったため今回は活用しませんでした。可能であれば、中学年向け、高学年向けに分けていただくと発達段階に応じた活用ができるのではないかと思います。
学習の導入部分で使いやすい内容だと思う。
本校6年生の総合的な学習の時間の課題と合致している内容だったため、活用しやすかった。
文字だけでは、理解しづらい児童もいるので、写真やイラスト、図表などが入っていると見やすくよかったです。また、文字のルビもよかったです。
自分の未来を考え、自分を見つめ直す際に、必要な内容を書き出す際に参考になりました。
絵や写真が多く、また文の言葉も理解しやすかったので、関心をもつ児童が多かった。
将来の自分を考え、やってみたい仕事を考える際に、秋田県で働くことができる職種や企業等の情報があれば、より秋田県で働くイメージを持ちやすいと思います。
データや写真など分かりやすかった。
この副読本は、秋田県の現状や特色を分かりやすく示しながら、私たち一人一人が「ふるさと」とどう関わって生きていくかを考えさせてくれる点がとても良いと感じました。特に、人口減少の課題を自分事として理解できるよう、地域のデータや身近な例が載っているため、児童にも実感をもって学ばせることができます。また、男女共同参画について、性別にとらわれず自分らしい生き方を選ぶことの大切さが丁寧に示されており、多様性を尊重する姿勢を自然に身につけられる工夫がされています。故郷の未来と自分自身の生き方を結びつけて考えるきっかけを与える教材として、非常に有意義だと思いました。
副読本の中に、自分の考えを書き込める欄があると活用しやすいと思う。
秋田県の実情を知るために、とてもよい参考資料となった。身近な秋田のデータによって、子ども達の興味や関心も高まった。
総合で自分たちの住んでいる〇〇市について学習しているが、県全体の少子高齢化の状況などを知ることができ学習の参考になった。
内容が多岐にわたるので、目的に合わせて焦点化して活用する必要があると感じた。
いろいろな教科・領域で利用できそうな資料がたくさんあった。

問10 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校・R7）

（続き）主に副読本の内容に関する感想、意見等
6年生が将来のことを考える上で必要な情報や考え方が記載されていて、参考になる部分が多かったと思います。知識だけではなく、人との関わりを考えるワークなどがあって活用しやすい工夫がされているのもありがたかったです。
キャリア教育を進めていくうえで有効な内容が多く、今後もさらなる活用方法を考えていきたいと考えている。
授業で扱うのは時間に余裕がなく難しく感じます。個人に渡して自学等で活用させていきたいと考えています。
児童のキャリアに繋がる内容である。
秋田県の現状を知る資料となった。
内容が具体的でとても参考になるものでした。現在あるカリキュラムにどのように入れて活用していくかを検討し、取捨選択して有効活用していきたい。
多様性に関する部分や男女共同参画に関する部分は小学生にはまだ難しい内容のような気がする。うまく展開している学校の事例が知りたい。
とても見やすく、内容も分かりやすかったです。今後も活用していきます。
3年生副読本「わたしたちの〇〇市」、4年生副読本「わたしたちの秋田県」を使った学習で、一部活用できる内容があるので、「〇年生社会科 単元名「〇〇」で活用できます」とあればいいのかもしれない。第2章、第3章、各種ワークシートは道徳的であったり、キャリアノート「あきたでドリーム」と内容がかぶっていたりしている。似たような内容であれば、どれか一つだけの活用となる。3、4年生の副読本編集委員会や〇〇市教育委員会と連携して情報を共有し合えばどうでしょうか？多くの学校が授業時数削減、学校行事見直しなど働き方改革に取り組んでいる。学校には様々な分野から副読本等が届くが、それらすべてに目を通して学習計画を立て活用するのは無理だと思う。
6年生の総合的な学習で用いましたが、6年生にとっては少し内容が易しかったように思います。よって、必要な部分をシートに作り直し、活用させていただきました。
社会科の副読本よりも具体的なデータがあり、その点を活用させていただきました。具体的な活用例が示されていれば、他教科等で活用を図りたいと思いました。
秋田のよさと課題を知り、これからのふるさと秋田を考えることができる内容となっていると思います。キャリア教育や道徳に繋がる部分も大きいので、教科横断的に使っていくのがよいのではないかと考えます。
秋田県の魅力ある自然や文化や、急速に進む人口減少や少子高齢化という地域の重要な課題、性別にとらわれない自分らしい生き方などがコンパクトにまとめられている。さらに、将来の職業選択や家庭内での家事分担を通じ、男女共同参画社会の視点を持って自らの未来を設計することを促す内容で、児童が抱える悩みに対応するための各種相談窓口も掲載されている。そして、周囲との良好なコミュニケーション方法について学ぶワークシートがネット上でPDFで入手でき、授業でも活用しやすい。来年度、授業で活用していきたい。
自分の生き方を考える学習の際に、参考となる資料・データが抱負に載っていたので活用しやすかった。ワークシートがQRコードで読み込みできることも、活用しやすさにつながった。
秋田県教育委員会で作成している「キャリアノート」と関連した部分が多く、よい資料であると思う。ただ、その具体的な活用方法について学級担任が悩んでいる様子もみられた。具体的な実践例などが共有されるとより活用の可能性が広がるのではないかと。
主に副読本の活用に関する感想、意見等
総合的な学習のテーマと関連する部分を取り上げて活用しました。キャリアノートとの関連を考えることもできるかと思えます。
秋田県の現状について知ることや、自分を大切に生きていくことの大切さを知るとは、児童がふるさとに愛着をもち、自分自身の価値を自覚して生きていくことに変容有効と考えます。
教室の本棚に置き、児童が自由に閲覧できる状況ではあるが、授業では特に取り上げられていない。
各教科の指導内容は年間指導計画に沿って履修を進めているため、副読本と関連付けて指導する単元を精査する時間がなかった。来年度活用するとすれば、比較的裁量の効く特別活動に位置づけて活用すればよいと、引継ぎしたい。
副読本の活用により、「男女共同参画」の重要性を子どもたちが理解するのに役立った。
活用を意識すると、新しいデータを生かせるよさがある。そのためには、年度当初にしっかり計画しないと、読むだけで終わってしまうこともある。読むだけでも魅力的な情報もあるため、読んで触れる時間を設定し、授業で活用しないところも見る機会を作った。
自分らしく生きるとは簡単なようで考えてみると難しいことが児童の反応から伝わってきた。自分の気持ちや自分らしく伝えることは道徳と関連付けることができ、アサーションを身に付けるために考える1つとなった。
主に総合的な学習の時間に副読本を活用したが、「ふるさと秋田を知ろう」の章が調べ学習のよい資料となった。

問10 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校・R7）

（続き）主に副読本の活用に関する感想、意見等
修学旅行で他県に行くときに、ふるさと秋田と他県の比較学習をする際、また、総合的な学習の中で、自分の将来について考えを深める際にとっても効果的だった。
ワークシートの例があり、授業に活用しやすかったです。
問9で○を付けた教科等で活用できる内容ですので、次年度は機会があれば是非活用して学習したいと思います。
来年度は、総合的な学習の中でさらに活用の機会を増やせるように、このような冊子があることを次の6年部に引き継ぎたいと思います。
秋田県の現状について考えるきっかけとなりました。
活用したことで、授業を深めることができましたと思います。
意外に知らない秋田のすごさが分かり、児童は興味をもっていた。職業調べ等でも活用し、児童が自分の将来について考えるよい資料となった。
活用について検討していきたい。
秋田のよさや課題解決に向けての大切な内容を盛り込んだ副読本をありがとうございます。 本校としては、うまく生かせていないところがありますので、今後はQRコードにある資料やワークシートを活用しながら、より充実した学習を展開できればと考えています。
有効に使わせていただきました。来年度も活用したいと考えております。
卒業期の6年生が「ふるさと秋田」について考える機会として活用しました。将来の秋田の担い手としての素地はもちろん、知っているようで知らない現状から、「学び」を担当が上手に引き出していました。「キャリア教育」や「多様性」について考える機会にもできるなど可能性も感じます。
今年度は、家庭科の学習において主に活用した。 家庭科の「共に生きる地域での生活」の学習で、秋田県の実態についてや、自分たちの住む〇〇市を活性化させるために、大人になった自分は何ができるかを考える学習において、データを活用した。 来年度の活用方法については、来年度の担任の先生の考えもあると考え、未定とした。
他教科や道徳と関連付けて、指導に役立てられるため効果的であった。
総合的な学習の時間に、将来の自分自身の姿について考える学習活動を行う中で活用した。テーマ毎にじっくりと授業を実践することは時数的に難しいが、子ども達は、自分の学習テーマにしたがって必要な内容を活用していた。また、いろいろな教科・領域で使えるような資料がたくさんあった。ピンポイントで使うには便利だった。
秋田県の実情を知ったり、自分の将来について考えたりすることができました。
自分の将来の夢について調べ学習をする上で、そのオリエンテーションに活用できるような内容でした。
副読本を活用することで、児童の理解を深めることができた。
総合的な学習の時間、国語で将来の自分について考える学習をした。 その際に、ワークシートを使わせていただいたり、自分を見つめ直したりする際に活用できた。
社会科の学習で第1章が活用できてた。新しいデータ（人口等）が記載されていて有り難かった。
秋田県について新しく知ることもあり、興味をもって学習に取り組んでいました。 また、「自分らしく生きよう」の資料は、道徳や特別活動で実践につながる内容でした。
秋田の現状や子どもの未来について考える機会をいただける冊子を準備してくださり、ありがとうございます。
卒業を前に有効に活用させていただきました。秋田県の特徴を例に出しながら、〇〇町の特徴についても考えることができました。また、社会科の学習では、日本の課題である人口減少の内容が出てきたときには、秋田県の人口減少のグラフを取り上げることができました。

問10 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校・R7）

副読本の形態や配付に関する事項を含む感想、意見等
秋田県のこれからや自分の未来について考える学習にふさわしい内容で、資料等もわかりやすい構成になっていると思います。紙の冊子だと保管場所の確保が難しかったり、本体が劣化するので、QRコードを利用する活用のしかたに移行していてもいいのではないかと感じました。
さまざまな教科・領域で活用できる内容となっていると思います。 ワークシートがダウンロードできることも取り組みやすさにつながると感じました。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間が限られていて、活用することが難しい部分もあった。</li> <li>・新しいデータが掲載されていることで、今を知ることができることはありがたかった。</li> <li>・そのまま直接記載できるようになると別のシートを印刷しなくてもよいので助かる。紙面を工夫して、シートと一体型にはならないだろうか。</li> </ul>
様々な学習活動に活用させていただいており、キャリア教育、道徳、生徒指導等に有効な副読本だと思う。 QRコードで資料や相談窓口につながっていることも簡単に活用でき有効だと感じた。
6年生の総合的な学習の時間の「未来に向かって」という学習内容で活用しました。地域・社会と自分との関わりや職業について調べる際に活用しました。今回は、紙の冊子を活用しましたが、データでの活用も考えたいと思います。
県教委のキャリアノートや家庭科、総合的な学習の時間、道徳との重なりが多く、他のシート等を活用して同内容を学習しています。教科書と重なりのない部分についてのシートやリーフレットを配付していただくだけでも十分です。
ネットへのアクセスで「第1章資料」を確認することで、最新データを取得できるのが効果的である。 定期的な情報収集と更新をお願いしたい。
児童の一人一人が、端末を活用して学習を進められるので、紙の冊子とWebデータの併用が有用です。 次年度以降も継続してほしいです。
いつも作成・配付していただき、ありがとうございます。

※回答校が推測されないよう、自治体名を伏せ字にしています。